資料地-32-1

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
地上業務委員会(第31回) 議事概要（案）

１　開催日時

平成26年7月9日（水）14:30 ～ 15:30

２　場所

総務省11階　共用1101会議室

３　出席者（敬称略、順不同）

［専門委員］

三瓶　政一(主査)、足立 朋子、川口　さち子、阪田　史郎、佐藤　孝平、松永　彰、中村　勝英、橋本　明

［関係者］

水池　健、新　博行、菅田　明則、硎　琢己

［事務局］

高橋、奥井

４　配付資料

資料地－31－1　　地上業務員会（第30回）議事要旨（案）
資料地－31－2　　ITU-R JTG4-5-6-7第5回会合報告書
資料地－31－3　　ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合への日本寄与文書（案）
資料地－31－4　　ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合への対処方針（案）

参考資料１　　ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合の開催案内
参考資料２　　ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合の日本代表団一覧
参考資料３　　地上業務委員会構成員名簿

５　議事概要

（１）地上業務委員会（第30回）の議事要旨について

【資料地－31－１】

地上業務委員会（第30回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は7月16日（水）までに事務局へ連絡する旨了承された。

（３）ITU-R JTG4-5-6-7第5回会合の報告について

【資料地－31－2】

事務局から、ITU-R JTG4-5-6-7第5回会合の報告があった。

（４）ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合の日本寄与文書案について

【資料地－31－3－1】

硎氏から「暫定新報告案ITU-R RS.[EESS 1.4GHZ]の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋　本　委　員：用語についてはOOBではなく従来通りunwanted emissionに統一してはどうか。

硎　　氏：承知した。

三　瓶　主　査：不要発射レベルを最悪値ではなく平均値で規定するということだが、平均値は誰も管理ができない。規則というのは性悪説で考え、最悪値を押さえるのが基本。これでよいのか。

橋　本　委　員：これまで2年ほどの議論でおおむねこの方針で合意ができている。平均値で運用できないオペレータがいたとしてもマクロでみれば問題ないと考えられる。

【資料地－31－3－2】

新氏から「WRC-15議題1.1のCPMテキスト草案に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、エディトリアルな修正を施し、承認された。

【資料地－31－3－3】

菅田氏から「JTG議長報告のAnnex 2の更新提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施し、承認された。

橋　本　委　員：勧告F.1336についても1行追記いただきたい。

菅　　田　　氏：承知した。

【資料地－31－3－4】

新氏から「WRC-15議題1.1における3 400-4200 MHz及び4 400-4 900MHz帯に関するさらなる考察」について説明があり、以下の質疑の後、承認された。

三　瓶　主　査：明確にRadio Regulationsで規定すると明記すべきではないか。
新　　氏：修正する。

（５）ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合への対処方針案について
【資料地－31－4】
事務局より、ITU-R JTG4-5-6-7第6回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

（６）その他
事務局より参考資料の説明があった。
修正の必要がある寄与文書については、7月11日（金）13:00までに事務局に提出することになった。
また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。
外国寄与文書の対応については日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨、説明があり、承認された。

以上